

宮地和夫 市政報告ニュース No.19

とよなが新しい風



発行日 2012年4月10日
発行責任者 宮地和夫
連絡先 玉井町3-1-19
Tel 6856-1260 Fax 6845-1397
Eメール kazuo-miyaji615@tcct.zaq.ne.jp
U R L <http://www.tcct.zaq.ne.jp/kazuo-miyaji615/>

(市政に関する相談はお気軽にご連絡を)

中核市「とよなか」始動

～誰もが住みやすいまちをめざして～

「自治の拡大と身近な自治の推進と」



2012年4月、豊中市は全国42番目の「中核市」となりました。市民生活に直結するとりくみも多く、「中核市」移行にあわせた改革が進められます。「誰もが住みやすい町 とよなか」に更に一步近づく改革となるよう、その行方をしっかりと見守りたいと思います。4月からはじまる主なとりくみを紹介します。

【1】豊中市保健所が開設されます。

「市民の健康づくり」「感染症予防」「精神保健や難病支援」「食品衛生」「環境衛生」などを豊中市保健所が担います。窓口は「保健所庁舎」(中桜塚4-11-1)「保健センター」(岡上の町2-1-15)の2か所です。

【2】3市2町での教職員人事が始まります。

豊中市独自の教職員研修は中核市移行に伴いはじまりますが、同時に3市2町(豊中・池田・箕面市、豊能・能勢町)で教職員の採用などもはじまります。地域に根ざした教育を採用段階から取り組む全国初のとりくみになります。

【3】ごみ新分別と資源化の促進を進めます。

4月1日の「豊中伊丹3Rセンター(リサイクルプラザ)」

の操業開始にあわせ、ごみの新分別(9分別)がはじまります。「不燃ごみ」が「不燃ごみ」「プラスチック製容器包装」「ビン」「缶」に細分化され、収集日も変更されます。これまで廃棄されていたごみの「資源化」を進めるためには、私たち市民の分別協力が不可欠です。

【4】新たな「地域自治のしくみ」づくりが開始されます。

3月議会で「地域自治推進条例」が成立しました。小学校区を単位に「自治会」「公民分館」「校区福祉委員会」などが中心になり、地域課題の解決や、地域づくり計画の策定などにとりくみます。市の支援を得て、各地域の自発的なとりくみで「地域自治組織」の結成をめざします。

大阪府教育2条例が成立

教育の管理強化を許さないとりくみを

3月23日、府議会で「府立学校条例」「教育行政基本条例」が維新の会・自民党・公明党の賛成で成立しました。大阪維新の会が示してきた「教育基本条例案」の教育管理強化を残す条例の成立です。

「首長の教育への政治介入」「高校通学区の廃止」「3年連続定員割れ高校の再編」「教職員評価への生徒・保護者意見反映」「3回の職務命令違反で改善研修・分限

処分」など教育を破壊する内容はそのままです。

更に、2012年度大阪府学力学習状況調査では「実質的学校別結果公表」が行われます。子どもたちの心を傷つけ、過度な競争だけを煽り、「教育格差」を放置する大阪府教委の姿勢は許されません。

子どもたちの豊かな教育条件整備を進め、教育の機会均等を実現することが今、求められています。

3月議会

2月24日より3月23日まで3月議会が行われました。浅利市長2期目の折り返し点となる2012年度予算はじめ、中核市移行、地域自治のあり方など市の基本的な方向性を議論する議会となりました。



【主な議案】

- 2011年度各経済補正予算案
- 2012年度各経済予算案
- 土地開発公社解散について
- 市長等の給与に関する条例の改正
- 豊中市地域自治推進条例など43条例案
- 包括外部監査契約、監査委員同意など
- 請願5件
- 意見書4件

【施政方針】

（1）予算

2012年度一般会計予算は1430億7千万円あまり。昨年度比で7.4%の増です。扶助費や学校施設耐震化予算の増加とあわせ、土地開発公社解散のための起債（借金）が原因です。浅利市長は公約である3つの重点項目と70の政策を着実に進め、「もっと身近な市役所に」を合言葉に、中核市としての市民サービス向上をめざす決意を示しました。

（2）主なとりくみ

- 「(仮称)野田中央公園」～庄内地域の防災公園・広域避難地として公共施設（十中、庄内体育館など）と一体的な機能整備を行います。
- 待機児童解消～民間保育所（7所）の増改築で143名の受け入れ枠を拡大。また、私立幼稚園（3園）を認定こども園として整備し50人の受け入れ枠を拡大します。
- 「第2期地域福祉計画」の策定～「認知症の高齢者を支える」市民後見人の養成、「元気な高齢者の相互支援」介護

支援ボランティア制度の創設で地域の支えあいを推進。
● 「(仮称)文化芸術センター」～休館中の市民会館を現地建て替えるため、2015年のオープンをめざし実施設計に着手します。

- 「第4期障害者長期計画」を策定～障害福祉サービスのあり方を検討し、「障害者虐待防止センター」を設置します。
- 小学校高学年教科担任制～小学校高学年に専門教科の講師を配置し、小中学校の段差解消を更に進めます。
- 17小中幼稚園の校舎耐震化を実施。19小学校幼稚園の冷房設備を整備します。
- ごみの新分別で「循環型社会を推進」、「路上喫煙防止条例」で環境に配慮したまちづくりを進めます。
- 「中小企業チャレンジ事業補助金」を創設し、市内事業者の経営力を強化します。
- 「地域自治推進条例」～地域における自治の仕組みづくりと自主的な活動を支援します。
- 庄内地域の総合的なまちづくりに寄与する「(仮称)南部コラボセンター」整備に向け、基本構想を策定します。

【議 決】

- すべての議案を提案通り議決しました。
- 請願4件については「閉会中の継続審査」に。
- 意見書「父子家庭支援策の拡充を求める意見書」他3件を採択。

3月議会 代表質問より

3月議会本会議において市民クラブは、市政全般にわたり19項目の代表質問を行いました。一部を紹介します。

【1】若者支援について

【質問】

昨年、市内の若者実態調査を行った。その結果、「ひきこもり」が約2300人、親和群をあわせると約8600人が「生きづらさ」を抱えていることが明らかになった。保健医療・福祉・教育・雇用労働など重層的支援が求められている。市は就労支援、パーソナルサポート事業など若者支援事業にとりくんできた。高校中退など進路変更した若者への早期支援や支援の方針化が必要ではないか？

【回答】

高校中退者の支援策として「寄り添い型学習・生活支援

事業」を開始した。「生きづらさ」を抱えた若者や保護者が相談できる窓口をまとめるなど対応を強化したい。また「若者支援」の方針化を検討している。

【2】(仮称)多文化共生指針について

【質問】

国は「地域における多文化共生推進プラン」をつくり、国籍・民族・文化の違いを越え、豊かさとして活かす社会をめざそうとしている。市は2000年に「国際化施策推進基本方針」を作成し、多言語情報提供の充実、相談窓口開設、外国人の市政参加に取り組んできた。

国際交流・人権団体はじめ、外国人市民の意見聴取、日

本人市民の意識把握を行い、「多文化共生社会」の実現をめざす指針を策定されたい。

【回答】

(仮称)多文化共生指針は「国際化施策推進基本方針」を改定し「異なる文化や価値観を認め合う多文化共生のまち

づくり」を進める市の基本姿勢を示すもの。在住外国人の聞き取りをはじめ、市民の意識調査を踏まえた方針を示したい。また、多文化共生社会実現のために、市民・団体の自発的活動を支援したい。

2012年3月議会 建設・水道常任委員会

2012年度の予算審議を中心に豊中の都市基盤整備に関わる質疑を行いました。

【1】「住宅地区バリアフリー整備」事業について

【質問】

8・9中校区をモデル校区として「住居地区バリアフリー整備」事業にとりくんでいる。「ワークショップ」での意見をどのように反映させるか。また、若者の集い・歩道調査ユニットの「歩道調査」をどのように活用するか。

【回答】

2020年までに、各年度2中学校区の「歩道バリアフリー化」を進める。生活者の視点で議論いただいている。府、警察も参加し、府道歩道の改善も同時に進行させる。「歩道調査」は重要な基礎資料として活用している。

【要望】

予算の効果的活用には市民意見の反映は重要。優先順位や工事法についても納得が得られやすい。「歩道調査」が果たしている役割は大きい。来年度、全中学校区の「歩道調査」が完成する。引き続き市の支援を求める。



関係者のフィールドワークでバリアフリー化の必要性・優先順位を検討します。

【2】豊中市作成「自転車ルールブック」について

【質問】

自転車事故の約8割で、走行側のルール違反が関係している。自転車走行のルール遵守が大きな課題。また、警察庁が改めて「自転車は車両」との徹底を呼びかける通達を発した。

2011年度市が作成した「自転車ルールブック」は、学校現場で好評だが、小学校低学年には難しい。低学年にも理解しやすいものが必要ではないか。

【回答】

「自転車ルールブック」小学校低学年版を検討する。

豊中市自転車ルールブックを活用した交通安全教育のとりくみが進められます。



【3】「服部駅周辺地区の面的整備」について

【質問】

この事業は、長期的には鉄道高架化も視野に入れた駅前広場等の整備を目的に、再開発事業・駅橋上化などを検討するもの。2011年度調査の内容と結果、また事業の基本的な方向性は。

【回答】

「駅・踏切利用者アンケート」「地権者アンケート」など行い、踏切渋滞・安全性の課題整理、まちづくりの意向把握を行っている。駅前広場の整備、歩行者安全の確保に向け、段階的事業プランの検討を進めている。

【要望】

降りた遮断機に侵入する歩行者を見るにつけ「危険とルール無視」に胸が痛む。子どもたちが見ている場合もある。阪急の理解と協力が不可欠だが、安心安全につながるプランを早急に策定すべき。



渋滞とルール無視の歩行者が目立つ朝の服部踏切。安全対策が急がれる。

【4】「景観水路における雨水循環」事業について

【質問】

中央幹線景観水路は中豊島小学校横から豊中市南部の猪名川にいたる、開渠型の水路。「うるおい・やすらぎ」をつくる水辺のオープンスペースとして整備されてきた。2012年度は豊島体育館横から中豊島小学校に雨水を循環させる計画。水質や水深の確保はどのようになるか。

【回答】

水路内に固定堰を新たに設置。雨水の循環を行うことで、渇水期でも一定の水量・流量を確保し、水生生物が活動できる水深を確保したい。水質についても生態系に影響がないよう努める。

【要望】

近隣住民の憩いの場、景観水路、また清潔で安全な水路となるよう引き続き清掃委託を行うとともに、住民の理解と協力が得られるよう努められたい。



「人口河川」の景観水路。住民の憩いの場となる環境保全が必要です。

活動日誌 2012年1月～3月(主なもの)

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1月 6 (金) 商工会議所新年賀会 | 2月 15 (水) 豊中市伊丹市クリーンランド議会 |
| 8 (日) 出初め式 | 20 (月) 予算内示会 |
| 9 (月) 成人式 | 23 (木) 豊中市教職員組合定期大会 |
| 10 (火) 大阪府教職員組合新春の集い | 24 (金) 3月議会本会議 (1日目) |
| 13 (金) 豊中市教職員組合新春交流の集い | 25 (土) 素のままフェスタ2012 |
| 18 (水) 空港問題調査特別委員会
豊中市市立幼稚園連合協議
会新年の集い | 27 (月) 市議会現地調査 |
| 21 (土) 産業フェア
サイエンスフェスタ
教育基本条例反対の集い | 3月 1 (木) 3月議会本会議 (代表質問) |
| 22 (日) 豊中市原爆被害者の会新年会
梅村聡出版記念の集い | 5 (月) 3月議会本会議 (代表質問) |
| 26 (木) 空港問題調査特別委員会 | 6 (火) 3月議会本会議 (代表質問) |
| 27 (金) 地域福祉計画シンポジウム
豊中市退職教職員協議会新年会 | 9 (金) 議会運営委員会 |
| 2月 | 12 (月) 建設水道常任委員会 |
| 2 (木) 防災問題調査特別委員会 | 13 (火) 文教常任委員会 |
| 4 (土) インクルーシブ教育を考
えるシンポジウム | 14 (水) 第五中学校卒業式 |
| 5 (日) 2012宮地和夫新春の集い | 15 (木) 環境福祉常任委員会
四中夜間学級卒業式 |
| 11 (土) 豊能四教連平和と人権を考
える集い
ボランティアフェスティバル | 16 (金) 総務常任委員会 |
| | 18 (日) 大阪府教職員組合スプリン
グセミナー |
| | 19 (月) 箕輪小学校卒業式 |
| | 22 (木) 教職員人事権移譲シンポジウム |
| | 23 (金) 3月議会本会議 (最終日) |
| | 24 (土) 3Rセンターオープン記念 |



2/4 第10回インクルーシブ教育を考えるシンポジウム「障害の有る無しにかかわらずともに生き、ともに学ぶ教育」の意見を再確認。



2/5 5回目になる「宮地和夫新春の集い」。チエロ・パイオリンの演奏を交え、和やかな交流の集いととなりました。



3/11 東日本大震災・福島原発事故から1年、「脱原発」をめぐり、「再稼働」の動きに対する批判の声を上げました。



3/24 リサイクルプラザ(豊中伊丹3Rセンター)竣工式。新たなごみ分別で資源化を促進します。知的障害者30名が働いています。

トピックス 2012年 新たな教育のとりのくみ

[1] 小学校高学年教科担任制

小学校は「学級担任制」ですが、高学年ともなるといろいろな先生との出会いで子どもたちは触発されるものです。中学校の「教科担任制」に慣れることも必要です。今年度よりモデル校10小学校に理科・体育で講師を配置し専門的な教科指導にとりくみます。長年要望してきた小学校への市費教職員配置がはじまります。

[2] とよなかブックプラネット事業

学校図書館のIT環境整備を進めています。貸出・返却業務のパソコン処理と公共図書館との連携事業です。学校図書館と公共図書館がネットでつながることで、蔵書量が飛躍的に増大し、先生方の教材研究にも活用が広がります。

第9回自然観察会のお誘い

春の自然観察会を京都鞍馬で行います。新緑の中、自然と歴史に触れる散策路です。アップダウンも少なく、どなたにも楽しめる行程です。

日 時：5月19日(土) 午前8時30分豊中駅改札集合 午後4時同駅解散
場 所：阪急豊中～叡電貴船～鞍馬寺～叡電鞍馬～阪急豊中 (小雨決行)
連 絡：FAX(6856-1260)

Email kazuomiyaji615@tcct.zaq.ne.jp

当日参加されても歓迎です。

参加費：交通費 2140円

編集後記

消費税をめぐる国会のごたごた、復興支援の停滞を招く予算審議。「決められない政治」を新聞・テレビは連日報じます。

一方、歯切れ良く敵をたたき、議会多数派を得た橋下氏は、「決定する政治」を体現しているかのようになり持ち上げられます。

しかし、子どもを単なる人材として競争させふり落とす、教職員を管理と強制で口をつぐませる橋下氏の本質をマスコミは暴くことはありません。

学校別の成績公表につながる「府学力調査」に豊中市も参加することが決まりました。小6・中3の限られた学力の調査結果ではありますが、数字は一人歩きし、ラベルが貼られることになるでしょう。「〇〇番目の学校」という結果だけで学校は評価され、子どもたちの心がもたえそばれることを恐れます。実施した責任を問われる日がやがて来ると思います。